



2023年4月12日

2023年度新入社員研修を仙台市の「泉ピークベース®」で実施 ～自律四足歩行ロボット「Spot」のデモンストレーションを実施～

日本国土開発株式会社(代表取締役社長:朝倉健夫、本社:東京都港区赤坂4-9-9)は、4月10日～12日までの間、自社開発した宮城県仙台市泉区の温浴施設を伴うキャンプ&ワーケーション施設「IZUMI PEAK BASE ®(泉ピークベース®)」において当社の新入社員研修を行いました。4月12日には株式会社ニコン・トリブルの協力を得て、Boston Dynamics社が製造する自律四足歩行ロボット「Spot®」のデモンストレーションを泉ピークベースの敷地内で実施しました。

泉ピークベースでの新入社員研修は今回で2回目です。前回研修後のアンケートで、コロナ禍でリアルなコミュニケーションが希薄になる中、新入社員同士が対面で、さらにオフィスとは異なる自然の中でチームビルディングに挑戦したこと、キャンプにはつきものの思わぬハプニングなどを乗り越えたことにより、絆が深まったとの声があり、今年も実施することとなりました。

新入社員研修は各班に分かれてグループワークを毎年行っており、今年のテーマは「四足歩行ロボット『Spot』の現場活用方法」です。4月11日にテーマに関する検討を開始し、12日にSpotのデモンストレーションを実施し、13日に当社のDX推進室の講義を受けた後、活用方法を取りまとめ、14日に経営層にプレゼンする予定です。このグループワークでは、自社事業の理解を深め、建設業界とそれを取り巻く環境の知識を増やすこと、チームメンバーごとの考え方の違いを認め合いながら最終的にはチームとしてひとつの答えを出すこと、チームビルディングを学ぶことが狙いです。

日本国土開発は、現在進行中の「中期経営計画2024」のミッションとして、機械化・DXによる『建設を人から機械へ』を掲げ、昨年6月にはDXの専門組織「DX推進室」を新設し、建設機械のDXや業務改善を推進しています。今回の研修において、最先端の自律四足歩行ロボット「Spot」を通して、入社段階から当社の上記方針を共有・浸透させるほか、新入社員の若い感性や視点から得た建設現場での活用方法などを、当社の新たな建設DXの取り組みにつなげていきたいと考えています。



デモンストレーションで登場した「Spot」は、3Dレーザースキャナを統合しており、建築・土木・インフラ・プラントなどの過酷な現場での各種測量計測データを自動で収集することができます。現場の点群計測、進捗モニタリングなどの反復的なタスクの自動化が可能です。今回のデモンストレーションは「Spot」の基本動作の紹介と点群データの取得・確認を行いました。

この件に関するお問い合わせ先

日本国土開発株式会社 戦略本部戦略部 電話:03-5410-5601